

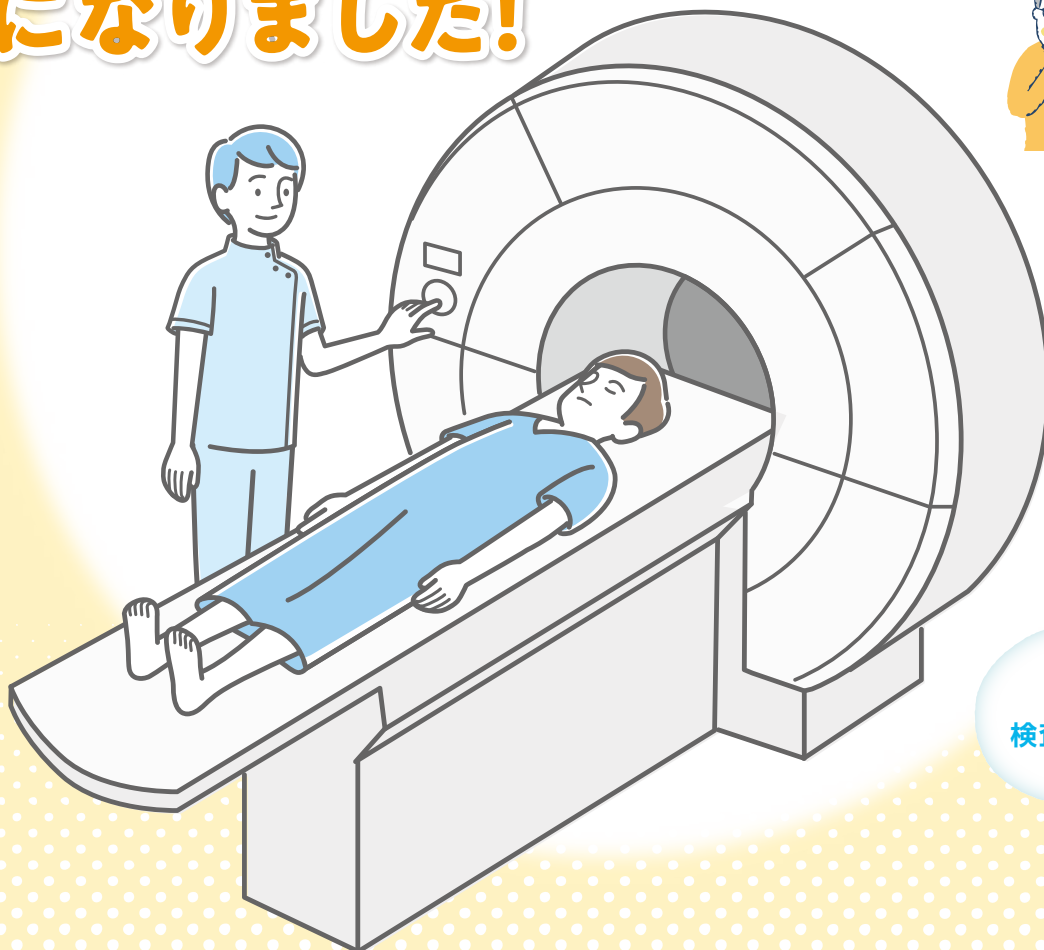
えがお

松本市立病院の

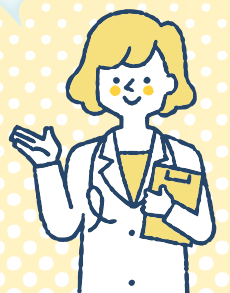
MRI 最新機種 になりました!

- ✓ そもそもMRIとは?
- ✓ 病院を支える検査機器
- ✓ 認知症について

どんな機能
なんだろう?



病院にある
検査機器を紹介します



松本市立病院の

MRI

最新機種になりました!

令和7年3月下旬にAI技術を搭載した
1.5テスラMRI装置へリニューアルしました

※テスラとは磁力の強さです。

そもそもMRIとは?

MRIとは磁気共鳴画像(Magnetic Resonance Imaging)の略で、強力な磁場と電波を利用して体内の状態を断面像として描写する検査です。X線を使用しないため被ばくの心配がありません。いろんな角度からの撮影が可能ことから脳や脊椎、四肢、骨盤内の検査に優れています。

治療前ががんの有無や広がり、他の臓器への転移がないかを調べたり、治療の効果を判定したり、治療後の再発がないかを確認するなど、さまざまな使い方があります。

■MRIとCTの比較

項目	MRI	CT
仕組み	磁気と電波	X線
放射線被ばく	なし	あり
得意な部位	脳、関節、筋肉、軟部組織	骨、肺、腹部臓器
検査時間	やや長い(15~30分程)	短い(数分)
その他	音が大きい、狭い	騒音・閉塞感が少ない

※CTの放射線量は人体に影響のないように管理されています

シーメンスヘルスケア社製 MAGNETOM
Avanto Fit with BioMatrix

最新機種で変わったこと!



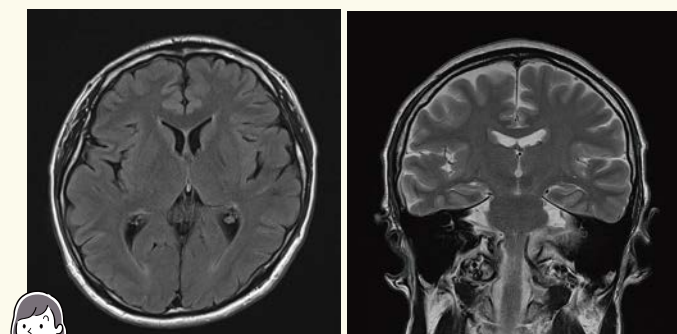
時間が約3分の2に短縮

撮影時間が15分ほどになりました。
1日の予約枠も拡大しています。



画像の質が向上

最新のAI画像処理技術により、ノイズを消して
鮮明な画像を撮影できるようになりました。



▲MRIで撮影された脳の画像



MRI検査を受ける際の注意点

Point
1

MRI検査は強力な磁石と電波を使って、磁場を発生させて行います。そのため検査前には腕時計や眼鏡といった金属類を取り外す必要があります。

心臓ペースメーカー、人工内耳のように体内に金属が入っている方はMRIを使った検査を受けることができません。必ずスタッフにご相談ください。

Point
2

湿布薬のような貼り薬やお化粧品はやけどの原因になります。検査前は体につけないでおきましょう。

Point
3

空間が狭いため、閉所が苦手な方は医師に相談しましょう。

Point
4

身体を動かすと画質が落ちてしまうため、同じ姿勢を保ちましょう

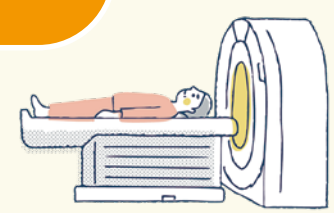


病院を支える 検査機器

病院にはMRIのように身体の画像を撮影するためのさまざまな機器があります。これらの機器を使って撮影した画像を治療や検査に役立てます。



CT



CTは、MRIと見た目が似ていますがX線(放射線)を使って全身を撮影します。
MRIと比べCTは撮影に時間がかからないことから、交通事故のような重度で緊急性の高い外傷の場合はCTを使うケースが多いです。



骨密度測定



骨密度測定とは骨が十分な強度を持っているか骨の密度を測る検査です。主に骨粗しょう症の診断などで使われます。
検査をご希望の方は、病院にお問い合わせください。

当院ではMRIの次に新しい装置です

骨粗しょう症とは？
骨粗しょう症は骨量が減少し、骨がもろくなり骨折しやすくなる病気です。日本生活習慣病予防協会によると、骨粗しょう症の2015年の推計患者数は、日本人の40歳以上で1,590万人(男性410万人、女性1,180万人)と女性が多く、この年代では約4人に1人が骨粗しょう症であると言われています。痛みがあるというわけではないため自覚しにくく、定期的な検査や予防策が重要です。

マンモグラフィ



★★★
日本乳がん検診
精度管理中央機構の
マンモグラフィ検診
施設画像認定を
受けています。



マンモグラフィ装置は乳がん検査に特化した検査機器です。乳房を圧迫し薄く広げて撮影することで乳腺の重なりが減り、病変が見つかりやすくなります。



当院では3Dマンモグラフィを導入しております。撮影角度を変えて複数の画像を3Dに再構成することで、平面で読み取るマンモグラフィと比べて、より詳細な画像診断が可能になります。
また検査は女性の検診マンモグラフィ撮影認定放射線技師4名が担当しています。不安なことなどありましたら、お気軽にご相談ください。

単独乳がん検診 マンモグラフィ検査料金 5,500円



血管撮影装置

血管撮影装置では、カテーテル(細い管)を血管の中に誘導し、血管の中から病気を治療・診断します。
当院では透析患者さんのシャントへの経皮的血管形成術で使われることが多いです。



放射線科には最新機種のMRI装置やCT装置、骨密度測定装置などの他にもいろいろな装置が稼働しています。
最新のMRI装置は検査時間も短くなり、苦手な方からは「以前よりもストレスが減った」というお声をいただいております。
どのような検査をしているのか疑問に思われたり、検査に不安を感じるなどがありましたら、お気軽にお声かけください。

松本市立病院
技師長 川澄 豊
(放射線科)



MRIは脳の疾患を診ることが得意な検査機器で、認知症の検査にも使われています。



認知症とは？

様々な病気により、脳の神経細胞の働きが徐々に変化し、認知機能（記憶、判断力など）が低下して、社会生活に支障を来した状態をいいます。歳をとると自然と記憶力が衰えますが、認知症と加齢によるもの忘れは性質が異なります。

認知症ともの忘れの違い



認知症によるもの忘れ

- ✓ 体験したことの全てを忘れている
- ✓ もの忘れの自覚がない
- ✓ 初期には自覚があることが少くない
- ✓ 症状は進行する

例) 朝ごはんを食べたこと自体を忘れている



加齢によるもの忘れ

- ✓ 体験したことの一部を忘れる
- ✓ もの忘れの自覚がある
- ✓ 症状は徐々にしか進行しない

例) 朝ごはんを食べたことは覚えているがメニューが思い出せない

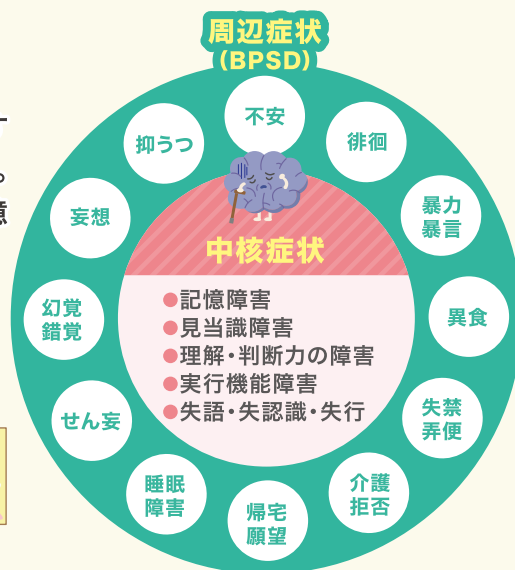
認知症の症状

認知症にはアルツハイマー型など、いくつか種類がありますが、そのほとんどの認知症で見られるのが右図の中核症状です。脳の細胞が壊れ、脳の機能の低下によって引き起こされる記憶障害です。

中核症状の例

記憶障害… 直前の会話を忘れる。食事をしたことを覚えていない。

見当識障害… 季節に合わない服を着る。自宅のトイレの場所が分からなくなる。



一方、中核症状によって引き起こされる行動や精神の異常を周辺症状(BPSD)といいます。症状は本人の性格や環境の影響を受けるもので、症状の中身は人それぞれ異なります。

周辺症状の例

不安・抑うつ… 何もする気が起きない。理由なく悲しくなる。

徘徊… 家を出て目的なく歩き回る。帰宅できなくなる。

幻覚・妄想… ものを盗まれたと思い込む。誰もいないのに「誰かがいる」と感じる。



松本市立病院
名誉院長 中村 雅彦
(脳神経外科)

認知症の原因として最も多いアルツハイマー病は、徐々に症状が進行し、発症して10～15年で廃用状態になります。しかし、早期の診断と適切な治療により進行を遅らせることが可能です。従来の認知症治療薬に加えて、原因物質の一つとされるアミロイドβ蛋白を脳内から除去する抗体薬も使用可能になりました。

また、易怒性、幻覚、妄想などの行動・心理異常(BPSD)に対しても、様々な非薬物療法や向精神薬を組み合わせることで症状が改善し、家庭や地域で安心して暮らすことが出来ます。認知症について正しい知識を持ち、認知症の人を正しく理解することが大切です。



松本市立病院での取組

当院では、認知症検査ともの忘れ外来・相談を行っております。認知症は早期の対応が重要です。認知症と診断されても悲観的にならず、進行を遅らせるための対策をしていきましょう。

認知症検査

※人間ドックのオプション

検査内容

■VSRAD検査

MRIを使ってVSRAD（早期アルツハイマー型認知症診断支援システム）という、脳の記憶をつかさどる海馬の委縮度を測る検査をしています。



■認知症スクリーニングテスト (MMSE)

質問や動作を伴う課題に取り組んでもらうことで認知症の発症を確認します。記憶・見当識・実行機能などが試され、世界中で行われている検査方法です。

※認知症検査はMRI検査の追加オプションのみで受け付けております。ご希望の方は人間ドックお申込みの際に、検査を希望するようお伝えください。
ご希望の方で人間ドックのご予定がない場合は、もの忘れ外来をご利用ください。

※50歳以上の方が対象です。

※人間ドックの詳細は病院ホームページをご確認ください。

もの忘れ外来 / もの忘れ相談

当院では脳神経外科の専門医による、もの忘れ外来を行っております。患者さんの生活状況から一人ひとりに合った対処法を一緒に考えていきます。

また、もの忘れ外来を受診するか迷っている方に向けて相談も受け付けております。お気軽にお問合せください。



※認知症検査と同様にMRI検査(VSRAD)、認知症スクリーニングテストも必要に応じて行っております。

【もの忘れ外来】 予約制

診察日：木曜日 午前9:00～11:00

【もの忘れ相談】 予約制

診察日：木曜日午後

※相談は費用をいただいております。



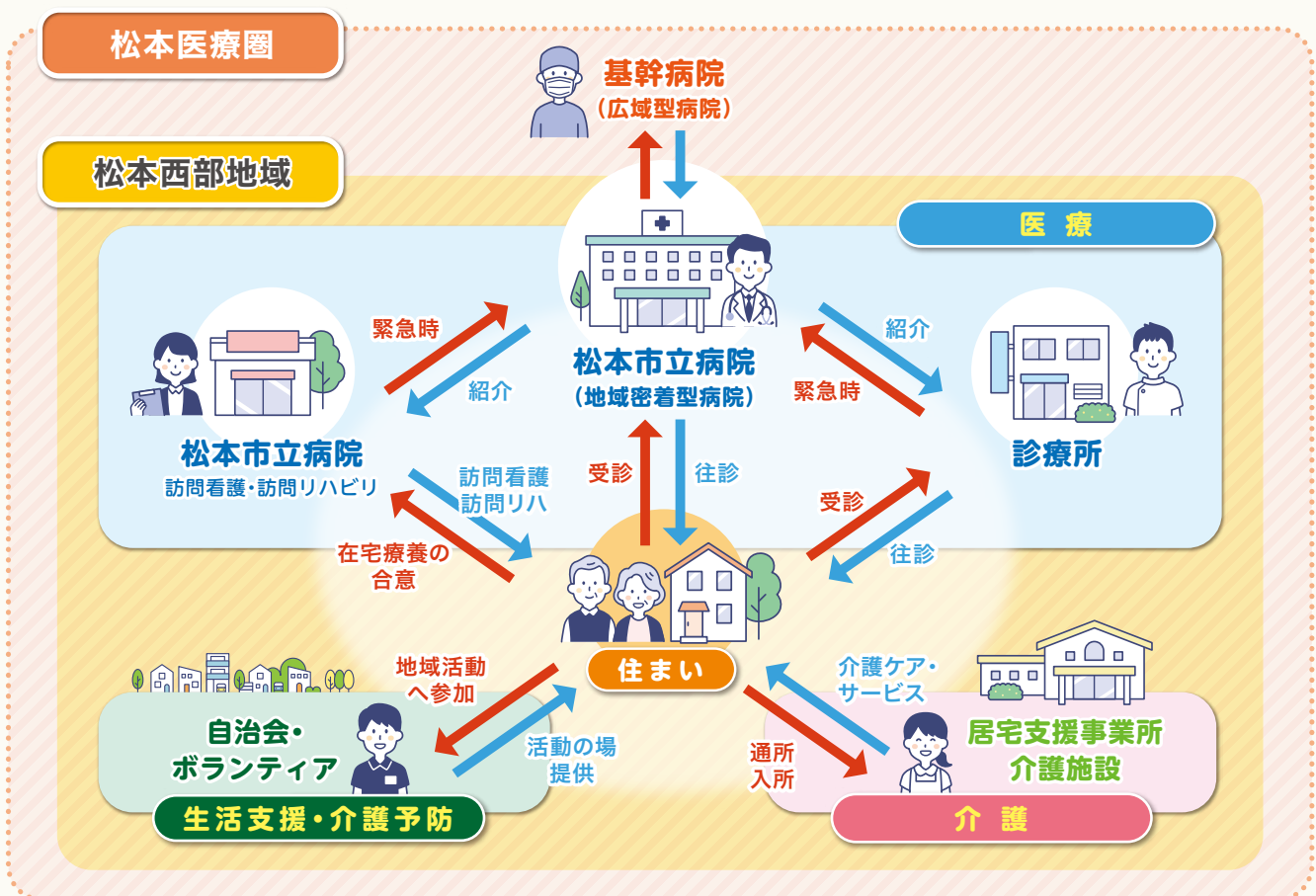
お問い合わせ | TEL.0263-92-3027 (病院代表)

松本市立病院の役割と連携

超高齢社会を迎え、当院は地域包括システムの一員として、
地域のご高齢の方々が安心して住み慣れた地で生活できるように以下の取り組みをしています。

医療機関の連携による切れ目ない医療の提供

当院は、長野県が策定した医療提供体制の「グランドデザイン」を踏まえ、松本西部地域の住民の暮らしを支える「地域密着型病院」として、高齢者一般救急（肺炎や心不全、大腿骨骨折など高齢者に発症しやすい一般的な疾患）を地域から積極的に受け入れ、高度・専門的な治療が必要な方に関しては「広域型病院」と連携し、高度急性期を脱した段階での受入れを行っています。入院中は疾患の治療だけでなく、自宅での生活を常に意識し、リハビリテーションの提供、介護保険認定や見直し、訪問看護導入など多職種が連携して在宅療養にスムーズに移行できるよう取り組んでいます。



上手な医療のかかり方を心がけましょう

かかりつけ医の紹介により当院を受診された患者さんには、当院での治療後、最初にご紹介されたかかりつけ医への通院をお願いする場合がございます。医療機関の適正利用を考慮したものであり、ご理解の程よろしくお願いいたします。

かかりつけ医が休診等で連絡がとれない場合は、
「長野県救急安心センター#7119」もご利用いただけます。



シャープ ななの ひやく じゅー きゅーばん
#7119

小児の緊急相談は **#8000** 時間:午後7時～翌日午前8時

看護師の
アドバイスが
受けられます。
相談
無料

お知らせ

アプリ「カタログポケット」で
「えがお」を配信しています！
是非ご利用ください！

↓こちらからダウンロードください(無料)



iphone



android

お産の情報や緩和ケアチームのコラム、
動画の情報などを投稿しています！

Follow
me!



病院の最新の情報は
ホームページを
ご覧ください！



<https://www.mt-hsp.jp>



松本市立病院 広報誌
～松本西部地域の安心を支える～

えがお

2025年7月1日発行

●発行 松本市立病院
長野県松本市波田4417番地180 ☎0263-92-3027(代表)
●編集 放射線科×脳神経外科×広報室
●制作 株式会社 日本広告

